

越田会長記者会見要旨

日 時：平成16年9月15日（水）午後2時30分～午後3時

場 所：フロンティア21記者会見場

出席者：越田会長、高橋副会長、渡辺専務

高橋副会長から、理事会の報告事項の概要について説明が行われた後、大要次のとおり質疑応答が行われた。

（記者）

協会が新体制になって2ヶ月半経つが、この間の新体制になった成果、評価をどのように考えているか。また業界団体機能の中のインターネット評議会について、松井証券など4社が独自の評議会を作って活動しているが、協会の活動と整合性がとれるのかどうか。今後協会としてはどのようにネット業界をまとめていくのか考えを伺いたい。

（越田会長）

まず2ヶ月経った感想についてだが、8月は夏休みということもあり本来ならば9月からの本格的な活動となるのだが、証券戦略会議は4回、自主規制会議は3回、総務委員会も3回開催しており、既にフル稼働の状態になっている。

7月から例年のとおり全国各地をまわり、懇談会を各地区の会員と行って直接会員の意見を聞いたところでは、今回の新しい組織については、協会に意見を言いやすくなった、業界活動がしやすくなったなど概ね好評であった。特に、証券戦略会議に対する期待が非常に大きかった。

自主規制機能については今週13日から協会と取引所の合同検査が既にスタートしており、業界の団体機能についても証券戦略会議で活発な議論が行われている。また今後は協会の体制の見直しの目的が充分達成されるよう、鋭意努力していきたい。

ネット専業4社が「ネット証券評議会」を設立したという報道がされている。

これらの4社の方々も本協会の会員として、本協会の種々の活動に参加してもらっている。したがって、これらの方々の考え方やニーズについては、本協会の運営において今後とも十分に反映して参りたいと考えている。

本年7月の機構改革によって、ご存知のとおり4つのリーテイル、ホールセール、インターネット及び外国証券という評議会が誕生し、それぞれの評議会では、7月中に幹事会を開催し、今後の運営等について協議しており、すべての評議会に参加者に対して今後どのようなテーマについて取り組んでいくべきか等についてのアンケート調査を実施することとなった。インターネット証券評議会においては、現在、参加者から回収したアンケートの集計作業を行っているところである。

インターネット証券評議会には、現在19社の証券会社が参加しているが、ご指摘のネット専業4社については今のところ参加されていない。今後とも広く参加を求めていきたいと思っている。

また、最近の報道によると4社が手口情報を開示されたということだが、我々にとっては個人投資家の証券市場における売買が増加することは非常に歓迎すべきことであり、ネット各社の様々な努力が個人投資家の参入を促していくことになれば賞賛すべきものであると考える。

この情報が、投資家への多少なりともためになる情報であれば、そしてそれが個人投資家拡大に寄与すれば非常にありがたいことであり、各社各様に今後とも努力していただくのがいいのではないかと考えている。

以 上